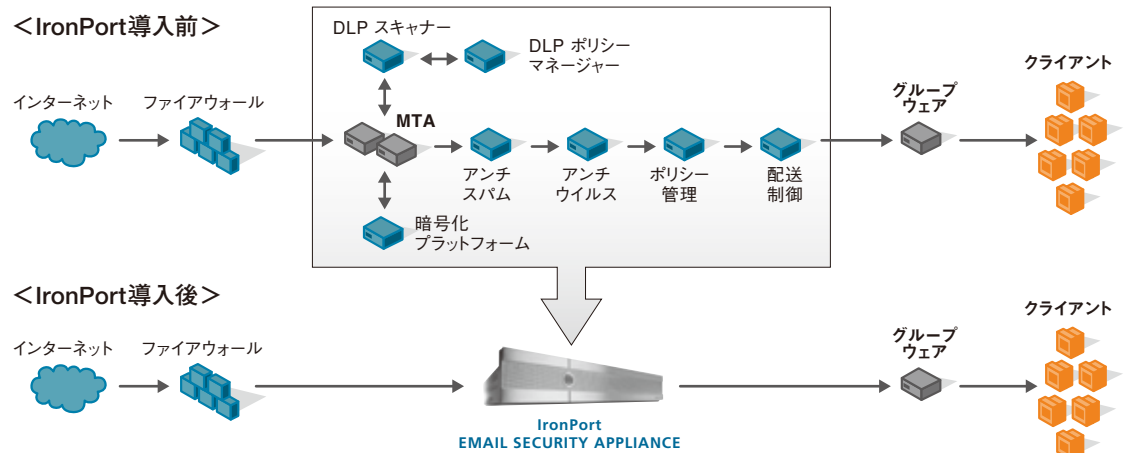


HIGH-PERFORMANCE EMAIL SECURITY. CARRIER-PROVEN TECHNOLOGY. ENTERPRISE-CLASS MANAGEMENT.

IronPort Cシリーズ メールセキュリティ アプライアンス

OVERVIEW

IronPort Cシリーズ メールセキュリティ アプライアンスは、企業の電子メールに関わるすべての問題に対する包括的なソリューションを提供します。今日、電子メールは企業活動に不可欠なコミュニケーションツールとなると同時に、攻撃者にとって魅力的なターゲットとなり、電子メールに関わる脅威は深刻度を増しています。刻々と進化する脅威に対して、IronPort Cシリーズは、IronPort Reputation Filters™、IronPort Anti-Spam™、Virus Outbreak Filters™ (VOF: ウイルス拡散防止フィルタ)、コンテンツフィルタ、メール暗号化など、最新のテクノロジーを駆使し、企業の電子メールシステムを保護します。



IronPort SenderBase Network

IronPortが独自に展開するSenderBase®は、世界中の100,000を越えるISP、大学、企業などからデータをリアルタイムに収集するとともに、150以上の異なるパラメータによってインターネット上にあるメールサーバの挙動を常時監視する、世界初、世界最大規模の電子メール監視サービスです。SenderBaseが収集するデータは、インターネット上で流通する電子メールの実に25%以上を網羅しています。これらの膨大なデータを、各Sender (送信者) ごとに、送信した電子メールの総ボリューム、DNSの設定、既知のスパム送信者やウイルスとの関係など、様々なパラメータを用いて分析することで、メール送信者の送信パターンを高い精度で捉えることが可能となります。SenderBaseの情報を利用することで、IronPort Cシリーズは、スパムメールへの対応を飛躍的に効率化しています。今日、SenderBaseは一日に50億を超えるクエリを受けつけ、多数のお客様のスパムメール対策に貢献しています。



- 世界中の5,000万以上のIPアドレスを常時監視
- インターネットを流通するメールの25%以上をサンプリング
- 送信元IPアドレスを150を超えるパラメータで評価し200段階にスコアリング(-10.0~+10.0)

FEATURES

<スパム対策>

IronPort Reputation Filters™ (レピュテーションフィルタ)

SenderBaseが分析した送信元IPアドレスの評価は200段階にスコア付けされ (-10.0から+10.0) ユーザ設置のIronPort Cシリーズに提供されます。レピュテーションフィルタは、SenderBaseが提供するスコア情報をスパムメールの検知に利用し、排除もしくは受信制御を行う機能です。レピュテーションフィルタはスパムメールをコネクションレベルで排除

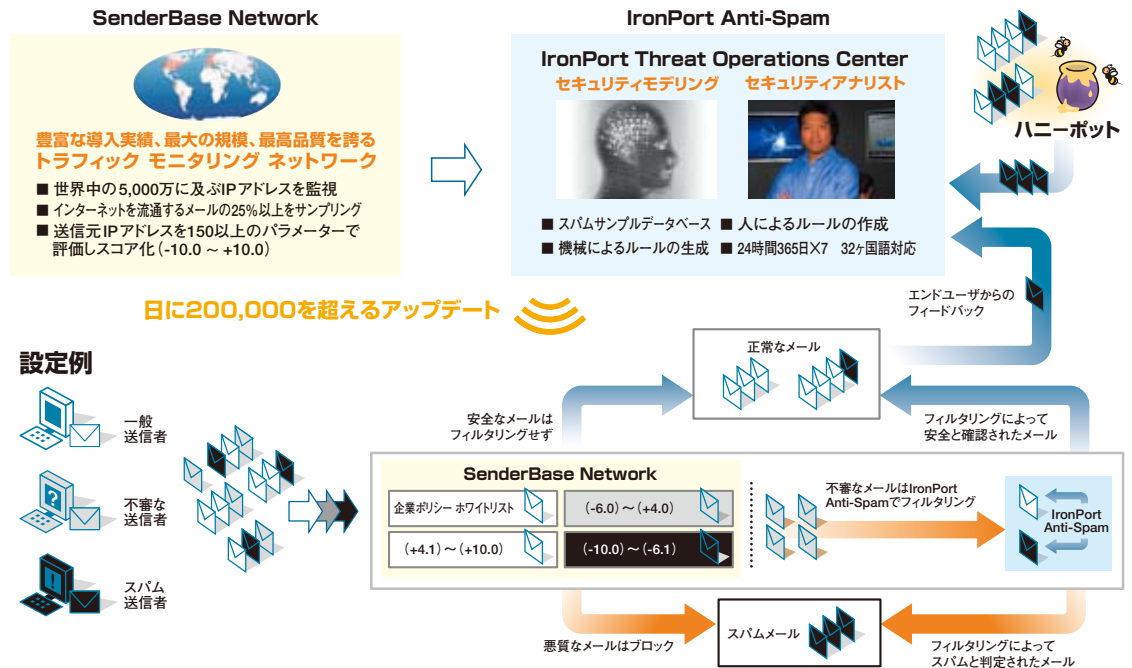
するため、ネットワークの帯域、システムリソースの浪費を避けるとともに、メッセージングシステム全体のセキュリティレベルを向上させることが可能となります。IronPortユーザの多くは、80%を超えるスパムメールをレピュテーションフィルタによって検知しており、その効果を証明しています。

IronPort Anti-Spam™ (スパムフィルタ)

IronPortが独自に開発したCASE (Context Adaptive Scanning Engine™) を利用したスパムフィルタです。ヒューリスティック分析、シグニチャ、画像解析、本文中のURL評価など、様々なテクノロジーを駆使して、スパムメールを業界最高水準の精度で検知します。また、運用管理が容易なことも特徴の

ひとつです。IronPort Anti-Spamが利用するルールセットは、すべて、IronPort Threat Operations Centerから提供されます。これにより、チューニングや学習作業といった管理者負担をかけずに、最新のスパムメールへの迅速な対応を実現しています。

<IronPort Cシリーズのスパムメール対策概略図>



IronPort スпам隔離

IronPort Anti-Spamによってスパムメールと判定されたメールに対するアクションには、件名やコンテンツヘッダにタグをつけて送信する、破棄する、専用領域に隔離する、という3つの選択肢を提供しています。隔離を選択する場合の隔離領域は、IronPort Cシリーズ内部に設けるか、IronPort Mシリーズを外部隔離領域として設定します。エンドユーザーには、隔離

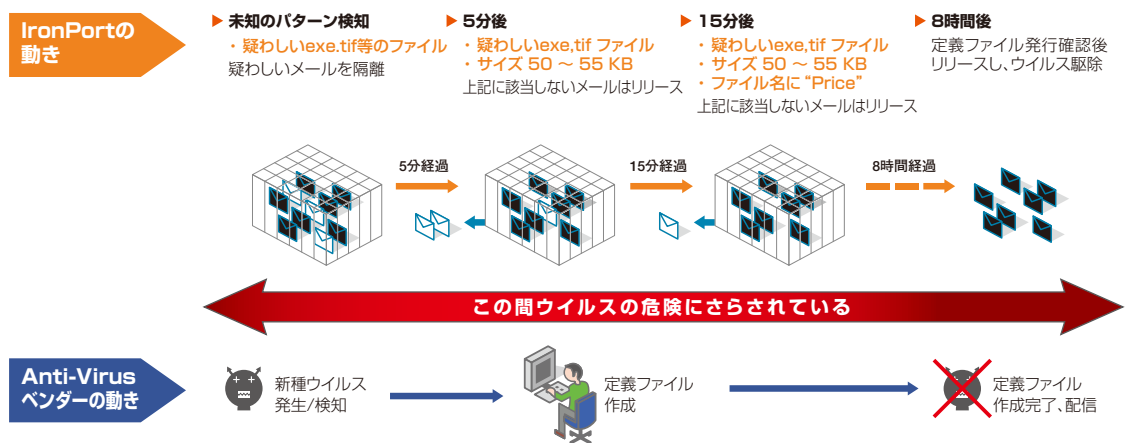
したスパムメールのダイジェストメールを一定期間ごとに送付することが可能で、ダイジェストメールに含まれるリンクから、隔離されたメールの内容を確認したり、リリースしたりすることができます。また、隔離メールの閲覧画面では、エンドユーザー個人によるセーフリスト、ブロックリストの設定にも対応しています。

<ウイルス対策>

Virus Outbreak Filters™ (VOF: ウイルス拡散防止フィルタ)

新種のウイルスの発生後、アンチウイルスベンダから定義ファイルが提供されるまでの期間に、ウイルスが拡散することを防止するソリューションです。インターネット上を流通するメールを常時監視するSenderBaseが、類似したファイルが添付された電子メールの急増など、新種のウイルスの発生を

早期に認識し、該当するメールを識別するシグニチャをIronPort Cシリーズに提供します。シグニチャに該当するメールはIronPort Cシリーズ内部に隔離され、アンチウイルスベンダ各社から定義ファイルがリリースされたことを確認した後に開放されます。



アンチウイルス

IronPort Cシリーズは、ソフォス社とマカフィー社のアンチウイルスエンジンを搭載しています。お客様の判断でいずれかのエンジンを選択いただくか、または、両方を有効化して

デュアルスキャンを実行することも可能です。アンチウイルス機能はIronPort Cシリーズに完全に統合されており、共通の管理画面から操作、設定を行っていただけます。

<メール暗号化>

暗号化機能

IronPort PXE™暗号化技術はIronPort独自のメールの暗号化方式で容易にメールの暗号化を実現します。共通鍵方式を採用することで、送信者、受信者ともに鍵を意識させることなくメールの暗号化、復号化を実施できます。

専用のクライアントソフト / アプリケーション不要

クライアント側にアプリケーションソフトをインストールする必要がなく、Webブラウザを用いて暗号化メールの復号化が行えます。暗号化されたコンテンツは、html形式の添付ファイルとして届けられ、受信者はブラウザから開くことで復号化を実施します。

あらゆるメールクライアントに対応

AOL、Yahoo!、Gmail、Hotmail といったWebベースクライアントを始めOutlook、Lotus Notes、GroupWiseといったデスクトップクライアントに至るまでさまざまなメールクライアントをサポートしている事で、あらゆるユーザが暗号化メールを閲覧できます。

TLS (Transport Layer Security) による暗号化機能の提供

TLSを採用することで、コンテンツではなくパス自体の暗号化をサポートします。宛先単位で、有効・無効の設定が可能です。

IronPort Encryption Applianceと組み合わせることで、S/MIMEやOpenPGPなど、さらに暗号化機能のサポート範囲が広がります。

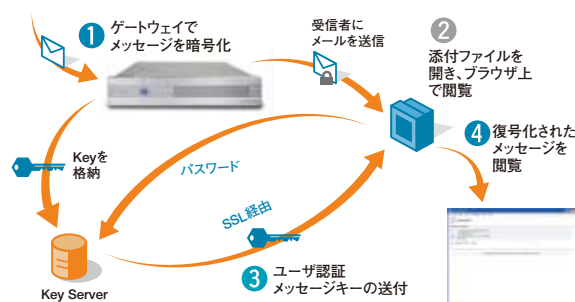
Key Server (キーサーバ)

IronPort PXE暗号化技術利用時に必要となるKey Serverは、独自で構築する事も可能ですが、IronPort / Ciscoが提供するASPサービスを利用する事も可能です。ASPサービスは暗号化ライセンスを購入していただくことで利用可能になります。現在、ASPサービスは8ヶ国語に対応しています。

暗号化対象メッセージの識別

件名、ヘッダ、送信元、送信先などの条件を、コンテンツフィルタで組み合わせることにより、組織のポリシーに沿った様々な条件で暗号化の対象となるメールの識別をすることが出来ます。

<アイアンポートのPXEメール暗号化概略図>



<マネージメント機能>

電子メールセキュリティマネージャ

スパム対策やウイルス対策、コンテンツフィルタなど、IronPort Cシリーズの提供するセキュリティサービスの適用方針を、ポリシーとして、ユーザ単位やグループ単位で制御する機能を提供します。この機能を利用することで、部門や役職ごとに異なるセキュリティサービスの運用をおこなうことが可能になります。ポリシーの分類には、メールアドレスやドメイン名を利用するほか、LDAPサーバと連携することもできます。

モニター機能

送信メール、受信メールの状況など、10種類以上のレポート生成に対応しています。レポートの生成はGUIから実行できるだけでなく、定期的に生成したレポートを管理者の方にメールで送付することも可能です。また、レポートの生成に使用する統計情報をCSVフォーマットでエクスポートすることもできますので、外部ツールを利用した管理にもご利用いただけます。



集中管理 (クラスタリング)

複数のIronPort Cシリーズを導入されるお客様向けの機能で、IronPort Cシリーズのクラスタリングを可能にします。クラスターを構成した場合、クラスター中の1台に実施された設定は、クラスターメンバーのアプライアンスに同期されます。複数のIronPort Cシリーズにログインして同じ設定を実行する必要がなくなり、管理者負担の軽減し、運用コストの削減に貢献します。

メッセージトラッキング

送信メールや受信メールの配送状況確認は、電子メールシステム管理者への問い合わせの中で、最も多いもののひとつとされています。IronPort Cシリーズが提供するメッセージトラッキング機能は、送信者や受信者のメールアドレス、件名、日付および時間の範囲などを指定した検索に対応し、当該メールの処理状況の迅速な確認を可能にしています。



IronPort Cシリーズは日本語を始め、各国の言語に対応したウェブベースのGUIのほか、CLI、SNMPサポートなど、お客様の要望に柔軟に対応するマネージメントツールを提供しています。



	IronPort C160	IronPort C360	IronPort C660
	中堅、小規模企業向けのエントリーモデル 低価格ながら、上位機種と同等の機能を提供	大企業から中堅企業の幅広い層に対応するモデル 優れたコストパフォーマンスを提供	サービスプロバイダや大企業向けの上位モデル 高度な耐障害性と優れたパフォーマンスを提供
対象ユーザ規模	~500	500~5,000	5,000~20,000

筐体プロセッサ

	19インチラック、1U	19インチラック、2U
筐体	19インチラック、1U	19インチラック、2U
サイズ	42.7mm (h) × 480mm (w) × 556.1mm (d)	86.4mm (h) × 482.6mm (w) × 744.3mm (d)
CPU	Dual Core Intel Pentium ×1	Quad Core Intel Xeon ×1
メモリ	4GB	4GB
電源	345W、90-264V	ホットスワップ対応な冗長構成、750W、100-240V
LCD	電源/ネットワーク/HD	エラーメッセージの表示やシステム状態により色調変更する正面実装LCDディスプレイ

ストレージ

	RAID1	RAID1、バッテリー装備キャッシュ付 デュアルチャネル構成	RAID10、バッテリー装備キャッシュ付 デュアルチャネル構成
ドライブ	250GB SATA×2	ホットスワップ対応300GB SAS×2	ホットスワップ対応300GB SAS×4
キュー	15GB	35GB	70GB
容量	210GB (5GB)	210GB (15GB)	460GB (30GB)
	ログ、各種データ、隔離、 トラッキング、レポーティング (最大スバム隔離領域)		

接続

イーサネット	10/100/1000 Base-T×2	10/100/1000 Base-T×3
シリアル	RS-232C (DB9) ×1	

アンチスパム、アンチウイルス

SenderBase®との連携		標準搭載	
送信ドメイン認証 (SPF, DKIM, ドメインキー)		標準搭載	
VOF (ウイルス拡散防止フィルター)	オプション もしくは バンドル		オプション
DOS/DHA攻撃防御		標準搭載	
Sophos アンチウイルス	オプション もしくは バンドル		オプション
McAfee アンチウイルス		オプション	
IronPort アンチスパム	オプション もしくは バンドル		オプション
メールスキャン、メッセージアーカイブ		標準搭載	
仮想ゲートウェイ	4	32*	32*

* AsyncOS 5.1以前のバージョンでは16になります。

インターフェイス/設定

GUI (Webインターフェイス)	HTTPおよびHTTPS
コマンドライン	SSHおよびTelnet
ファイル転送	SCPおよびFTP
プログラム可能な監視機能	XML over HTTP (S)
設定ファイル	XMLベースの設定ファイル、アーカイブ、クラスター内への転送可能 (オプション)

ログ

ログ設定	ユーザ設定可能なログサービス、FTPあるいはSCPで外部収集、アップロード/ダウンロード、一定時間毎 (固定) / ファイルサイズによるローテート
外部転送方法	FTP、SCP (アップロード/ダウンロード)、Syslog

モニタリングと管理

メールモニタリング	ソースIP、ドメイン、組織名によるメールフローデータベース
システムモニタリング	SNMP v1 / v2c / v3、MIB II、プライベートMIB
警告	アプリケーション/キュー/ファイル転送エラーなどのイベント毎のemailによるアラート
レポート	送受信数、ウイルス検知数、スパム検知数、システム状態などの定期レポート
メンテナンスのスケジュール	オフライン (配信/インジェクション) の停止、配信一時停止、シャットダウン、再起動



アイアンポートシステムズ株式会社

<アイアンポートシステムズはシスコシステムズの一事業部門です>

〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-12フォーシーズンズ溜池山王ビル8F
TEL 03-5573-8160 FAX 03-5573-8159
email: jp-info@ironport.com

www.ironport.com/jp

Copyright © 2000-2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved. IronPort, the IronPort logo and SenderBase are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. All other trademarks are the property of Cisco Systems, Inc. or their respective owners. While every effort is made to ensure the information given is accurate, Cisco does not accept liability for any errors or mistakes which may arise. Specifications and other information in this document may be subject to change without notice. P/N 435-0120-1-J 10/08

IronPort, IronPort logo, SenderBase, IronPort 製品名はCisco Systems, Inc.の登録商標です。本カタログに記載されている他の会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

*本カタログ記載の内容は、予告なしに変更する場合があります。

IronPort is now
part of Cisco.

